

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		児童生徒移送費事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	原田 奈利
	施策の柱	33	徳育の推進		所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10672 他	根拠法令		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各種大会・行事等に伴って必要となる児童生徒の移送に係る費用を助成し、保護者の負担を軽減し、学校教育に係る体育・文化活動の円滑な実施を図るため始まった。
【業務の流れ】	各学校でバス等を手配。請求書が届いたら、支払事務を行う。
【主な予算費目】	使用料及び賃借料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	各種大会・行事等に伴って必要となる児童生徒の移送に係るバス等の発注、借上げ、支払い業務を行った	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 各種大会・行事に参加した件数 イ:	予算の主な増減の理由 特別支援行事等の参加者数等増によるバス台数の増加に伴う車借上料の増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	各小・中学校児童生徒	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 各小中学校児童生徒数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	遠方への児童・生徒移送(各種大会参加等)を安全に行う	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア: 体育・文化活動に一生懸命に取り組めたと感じる児童生徒の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 児童生徒を安全に移送し、大会等へ参加することで教育振興を図る。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア 件		40	43	40	42	40	40	45	45
② 対象指標	ア 人		6,365	6,516	6,686	6,678	6,820	6,960	7,105	7,150
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	2,685	3,096	4,999	3,533	4,204	5,900	6,500	6,900
(A) 事業費計	千円	2,685	3,096	4,999	3,533	4,204	5,900	6,500	6,900	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	0	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	10	0	20	60	20	20	20	20
	(B)人件費計	千円	0	0	79	236	79	79	79	79
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,685	3,096	5,078	3,769	4,283	5,979	6,579	6,979

事務事業名	児童生徒移送費事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 基本的にすべての大会・行事等に伴って必要となる児童生徒の移送に係る費用を助成するため、達成見込みは100%である
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業の内容として、参加者の移送費補助であり成果としては向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他県で起きた貸切バス事故等を踏まえ、国交省から委託契約金額等の設定について基準が設けられた。安全な運行を担保するため、安全面の配慮が欠ける価格の競争を規制する内容となっており、以前の委託金額より単価が高くなってきている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により一部の個人又は団体が利益を受けるものではない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

法令に則り、適正なバスの発注及び安全な移送を行うため、契約内容等の整備を行った。事故等もなく、安全に児童生徒を移送し、大会等に参加することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					